

那覇市長 様

令和 2022 年 10 月 21 日

団体名 Uni

代表者 与那覇優女菜

担当者 石倉瑚真

「なは市民活動支援事業」

## 中間報告書

令和4年8月2日付け、那覇市指令市ま第1513号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	学生と自治会のマッチングプロジェクト	
2.実施内容	<p>(何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など)</p> <p>8月17日 松島自治会長と打ち合わせ 場所：宝口公園 内容：今後の活動内容についての話し合い</p> <p>8月22日 沖縄国際大学に協力要請 場所：沖縄国際大学 内容：Uniが学内でお知らせやポスターの掲示を行うための許可取り、Uniの説明</p> <p>8月23日松島自治会長との打ち合わせ 場所：ZOOM 内容：掲示するポスターのデザイン案決め</p> <p>8月31日 松島自治会長との打ち合わせ 場所：ZOOM 内容：MAP作成時の協力要請の確認、プレスリリースについて</p> <p>9月12日 沖縄国際大学へのポスター掲示 場所：沖縄国際大学 内容：ポスターの掲示許可印を貰う、学内に掲示する</p> <p>9月21日 松島自治会長との打ち合わせ 場所：ZOOM 内容：MAP作成時の協力要請の確認</p> <p>10月3日 松島自治会長との打ち合わせ 場所：松島自治会 内容：協力要請の資料作り</p> <p>10月5日 真和志地区定例会議での協力要請 場所：真和志支所 内容：自治会長さんへMAP作りのための協力要請と自治会×Uni連携のためのアンケート調査</p>	
3.これまでの活動の振返り	<p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学内にポスターを掲示することでUniの認知度が高まった。</li><li>・松島自治会長（西平さん）との定期的な打ち合わせを行うことにより、自治会との連携を上手く取ることができた。</li><li>・学生支援課との連携により、ボランティア募集のシステムが構築できた。</li><li>・沖縄国際大学との連携を図ることができ、メンバーの増加に繋げることができた。</li><li>・自治会長さんへのプレゼンテーションやアンケートを通して、Uniを知ってもらい、各自治会の現状を把握することができた。</li></ul>	<p>【改善点・今後につなげる点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1回の話し合いの中で上手くまとめることができなかった</li><li>・真和志地域の各自治会長さんとの連携を取るまでに少し時間がかかった</li><li>・Uniのシステム作りに時間がかかった</li></ul>

<p>4.今後の事業予定</p>	<p>(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など)</p> <p>11～12月 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ→イベントを企画し、その中で地域の方に直接インタビューを行う</li> <li>・フィールドワーク→自治会長と地域散策を行いながら地域の歴史を学ぶ</li> <li>・直接または電話でのインタビュー→真和志地域の各自治会長へインタビューを行う</li> <li>・各自治会のイベントにボランティアとして参加</li> </ul> <p>12～2月 MAP作り</p>
------------------	--

5.写真  
(簡単な説明文を記入)

(MAP作成への協力依頼文)

(地域の課題調査の依頼文)

(Uniメンバー募集のポスター作りました！)

(MAP作成に向け作戦会議中♪)

<p>6.活動の成果目標</p>	<p>MAPを300部作成し、モノレールの駅や観光地などの公共施設3箇所、自治会10箇所に設置する。</p>
<p>7.現時点の成果目標達成度 (例：60%達成)</p>	<p>40%達成 〇コミュニティのシステム作り時間がかり、まだMAPに本格的に取り組めていないため。</p>

- \* 10月21日(金) 提出
- \* 提出方法：メールにて提出
- \* 提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。
- \* 中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに報告発表していただいても構いません。